



『グリニッジ大冒険』 ～時が盗まれた～



発売日：2011年1月20日

(全国書店・ネット書店)

定価：1,700円+税(1,785円)

著者：ヴァル・タイラー

訳者：柏倉美穂、北村ルミ子、西川真由美、
花井千佳、安井ルイ

監訳：近藤裕子

出版社：バベルプレス

判型：四六判

頁：480ページ

ISBN: 978-4-89449-6

世界各地で時の流れを支えるトキモリ族。その本拠地ともいえるグリニッジ公園に、この世の時を刻む<大時計>があるといいます。ところがその<大時計>の心臓である<チックタック>が、トキモリ族の工房から乱暴者のオチコボレ族に盗まれてしまいました。取り返さなければ時が永遠に止まってしまう。でも、オチコボレ族が住む地下トンネルへ<チックタック>を取り返しに行くなんて、誰ができるのでしょうか？

「ほかにはだれもいないのだ」

この難しい任務をやりとげられるのは、あの子しかいません。小さいから、未熟だから、知恵がないから。反対する理由はいくらでもあります。それでも世界の命運を託すのは、信じる心と愛があるから。なげなしの勇気を奮い起こし、重大な使命を帯びて地下のトンネルに向かった「オチコボレ族のおちこぼれ」は、無事に<チックタック>を持って帰ることができるでしょうか？

オチコボレ族に生まれ育ったソフィも、トキモリ族の長である「時の守護官長」の孫のティッドも、トキリス族のリーダーのコブも、大人から見れば心もとない存在ですが、彼らは決してあきらめません。絶体絶命のピンチでも、もう一步を踏み出します。勇気や知識がちっぽけでも、それを最大限に発揮するのです。さあ、彼らの声が聞こえたら急いでください。あなたの<心添え>と精一杯の応援がなければ、今夜で時が止まるかもしれません。

【著者ヴァル・タイラーの想い】

二〇〇五年一月にイギリスで出版された本著は、続編『The Time Apprentice』とともに、瞬く間に小・中学生の間で人気を博し、ポルトガル語を始め、韓国語、ドイツ語、タイ語に翻訳されています。

元小学校教師である著者ヴァル・タイラーは、いつも、男女ともに夢中になれる、中身のしっかりした読み物が少ないことに不満を持っていたといいます。そんな思いを込めて書かれた本著では、一貫して、丁寧に生きること、過ちを赦すこと、正しい道を選ぶ勇気を持つことが、易しい言葉で語られています。

世界観の違いに戸惑いながらも、前に進み続ける主人公たちの姿を描いた本作品は、過去の過ちを断ち切る奮闘を描いた続編とともに、若い読者層の心の成長にそっと寄り添ってくれるような一冊です。

(目次)

- 1.おわりのはじまり 2.スノット<上界>へ行く 3.秘密の場所 4.<大会議> 5.暗やみでバツタリ 6.スノットの迷い 7.新しい旅立ち
- 8.ゲートを越えて 9.シェルドン・クロー 10.<下界>の扉 11.逃亡 12.敵と対面 13.それぞれの朝 14.公園を去る準備
- 15.オールド・キルジョイの足もとで 16.トンネルの奥の光 17.ソフィの計画 18.地図 19.思いがけない出会い 20.つかのまの地上
- 21.ソフィお嬢さんは<上界>警備隊長 22.けだもの 23.勇気ある行動 24.探し出せgu 25.やっと見つけた
- 26.ティーダ ハルダス アラ ブルカス 27.わが家 28.はじまりのおわり

【本件に関する問い合わせはこちら】

TEL: 03-5211-3727 email: press@babel.co.jp

(担当: 藪下) バベルプレス(株式会社バベル) HP: <http://www.egaiasyoten.com/>